

＜第105回キャンパス・サミット資料＞

平成29年2月21日

社会環境学部「ビオトープ」及び新宮町「人丸公園ビオトープ」活動報告

坂井宏光

1. ビオトープ活動～ 社会環境学部「ビオトープ」活動は、地域の自然環境の保全、再生・創生と環境人材育成を目的としています。このビオトープ活動は平成18年3月に開始し、地域の皆様と学生達が可能な限り自然環境を維持・保全し、継続的に自然観察会などで楽しく交流しています。

現在、次年度に向けての活動を計画中です。平成29年度のビオトープ活動は4月29日(土)に第44回(春)、7月8日(土)に第45回(夏)、10月14日(土)に第46回(秋)、12月9日(土)に第47回(冬)と里山・ビオトープ自然観察会を4回開催する予定です。8月の和白東校区の夏祭りにも参加する予定です。

今年1月17日に里山・ビオトープ自然観察掲示板が新たに設置され、見やすくなりました。また、ビオトープ池横の里山への入り口の木製階段が整備されました。(下の写真、2月14日撮影) 構内の里山・ビオトープの美しい自然、四季の移り変わり、生態系の豊かさなどを五感で実感できることでしょう。



2. 新宮町「人丸公園ビオトープ」活動～ 平成28年4月から新宮町の60周年記念事業の一つで、人丸公園ビオトープが一般に開放されています。地域環境連携活動の一環として、今年も3月から人丸公園ビオトープの貴重な自然生態系保全を進めるため、学生達が協働で生態系調査や自然観察を行います。(下の写真、中央はクサガメ、左はヌマガエル、2016年9月16日学生撮影)

